

NYマーケットレポート(2013年7月31日)

昨晚の NY 外国為替市場は、序盤に発表された ADP 雇用統計と 4-6 月期の米 GDP が市場予想を上回る結果となったことを受けて、米経済の回復期待が高まり、ドルは大半の主要通貨に対して上昇する動きとなりました。また、投資家のリスク回避の動きが後退したことから、クロス円も堅調な動きとなりました。そして、注目された FOMC では、月間 850 億ドルの資産購入ペースを維持する方針が表明され、継続的な低インフレが景気拡大の妨げになる可能性が指摘されたことを受けて、ドルが主要通貨に対して軟調な動きとなりました。また、豪ドルは、引き続き中銀総裁の発言が影響して、主要通貨に対して軟調な展開が続きました。

2013/7/31 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	97.85	98.17	97.78
EUR/JPY	129.95	130.14	129.60
GBP/JPY	149.00	149.53	148.76
AUD/JPY	88.43	89.04	88.20
EUR/USD	1.3282	1.3293	1.3241

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	97.87	97.59
EUR/JPY	129.99	129.33
GBP/JPY	149.05	148.30
AUD/JPY	88.43	88.06
EUR/USD	1.3301	1.3249

* LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	97.94	98.54	97.69
EUR/JPY	130.25	130.79	129.69
GBP/JPY	148.95	149.41	148.56
AUD/JPY	88.03	88.38	87.85
NZD/JPY	78.22	78.39	77.89
EUR/USD	1.3301	1.3345	1.3211
AUD/USD	0.8990	0.9024	0.8938

米主要株	終値	前日比
米ダウ平均	15499.54	-21.05
S&P500	1685.73	-0.23
NASDAQ	3626.37	+9.90
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	12486.64	-95.11
ブラジルボルサ指数	40837.88	+601.33
ブラジルボベスパ指数	48234.49	-327.29

8/1 経済指標スケジュール

08:30 【豪】7月AIG製造業指数
 10:00 【中】7月製造業PMI
 10:00 【豪】6月HIA新築住宅販売
 10:00 【豪】2Q輸出物価指数
 10:45 【中】7月HSBC製造業PMI
 14:00 【日】7月自動車販売台数
 16:50 ~ 17:30【仏】【独】【欧】【英】7月製造業PMI
 20:00 【英】英政策金利発表
 20:30 【米】7月チャレンジャー人員削減数
 20:30 【米】8月RBC消費者予測指数
 20:45 【欧】ECB政策金利発表
 21:30 【米】新規失業保険申請件数
 21:30 【米】失業保険継続受給者数
 22:30 【シンガポール】7月電子産業指数
 22:30 【シンガポール】7月購買部景気指数
 23:00 【米】7月ISM製造業景況指数
 23:00 【米】6月建設支出

主要会議・講演・その他予定

欧州主要株	終値	前日比
英FT100	6621.06	+50.11
仏CAC40	3992.69	+6.08
独DAX	8275.97	+4.95
ST欧州600	299.58	+0.15

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1313.00	-11.80
NY 原油	105.03	+1.95
CME コーン	499.00	+3.50
CBOT 大豆	1374.00	+24.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.31%	0.31%
3年債	0.59%	0.59%
5年債	1.38%	1.39%
7年債	2.00%	2.01%
10年債	2.58%	2.60%
30年債	3.64%	3.67%

(出所:ブルームバーグ)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 97.76 ユーロ/円 129.75 ユーロ/ドル 1.3275

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6610.16	+39.21	ダウ INDEX FUTURE	15476	-17
仏 CAC40	3972.02	-14.59	S&P500 FUTURE	1684.20	-0.50
独 DAX	8240.02	-31.00	NASDAQ FUTURE	3085.50	0.00

(出所:ブルームバーグ)

21:00

《 経済指標の結果 》

6 月南ア貿易収支 -77 億 ZAR (予想 -89 億 ZAR・前回 -110 億 ZAR)



(出所:ブルームバーグ)

1:00

《 経済指標の結果 》

7 月ポーランド NBP インフレ予想 0.4% (予想 0.3%・前回 0.4%)

IMFスタッフ報告

- ・「IMF スタッフはギリシャ融資プログラムの査定後に報告書作成」
- ・「ギリシャ債務救済策は、2014-15 年に必要も」
- ・「ギリシャは、2014 年に 44 億ユーロの資金が必要」

21 : 15

《 経済指標の結果 》

7 月米 ADP 雇用統計 20.0 万人（予想 18.0 万人・前回 19.8 万人）前回発表の 18.8 万人から 19.8 万人に修正



（出所：ブルームバーグ）

指標結果データ

《ADP 雇用統計》

7 月・ 6 月・ 5 月・ 4 月・ 3 月・ 2 月・ 1 月
ADP 雇用者数（前月比）・ 20.0 ・ 19.8 ・ 13.4 ・ 11.3 ・ 13.1 ・ 23.7 ・ 21.5
（万人）



（出所：ネットダニア）

21 : 30

《 経済指標の結果 》

- ・ 2Q 米 GDP (前期比年率) 1.7% (予想 1.0%・前回 1.1%) 前回発表の 1.8%から 1.1%に修正
- ・ 2Q 米個人消費 (前期比) 1.8% (予想 1.6%・前回 2.3%) 前回発表の 2.6%から 2.3%に修正



(出所:ブルームバーグ)

米ドル=円, 1分足, #100



(出所: ネットダニア)

21 : 30

《 経済指標の結果 》

・ 5 月カナダ GDP（前月比） 0.2%（予想 0.3%・前回 0.1% ）



（出所：ブルームバーグ）

《 NY 外国為替市場 序盤 》

序盤の外国為替市場は、ADP 雇用統計や米 4-6 月期の GDP 速報値が、市場予想を大きく上回ったことが好感され、ドルが主要通貨に対して堅調な動きとなっている。

22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	15571.50	+50.91
ナスダック	3631.60	+15.13

（出所：ブルームバーグ）

22 : 45

《 経済指標の結果 》

7 月シカゴ購買部協会景気指数 52.3 (予想 54.0・前回 51.6)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《シカゴ購買部協会景気指数》

	7 月	6 月	5 月	4 月	3 月	2 月	1 月
景気指数	52.3	51.6	58.7	49.0	52.4	56.8	55.6
仕入価格	63.6	59.9	55.3	51.0	61.0	61.8	60.7
生産	53.6	57.0	62.7	49.9	51.8	60.2	60.9
新規受注	53.9	54.6	58.1	53.2	53.0	60.2	58.2
在庫	37.7	41.4	40.4	40.6	41.0	50.1	55.0
雇用	56.6	57.8	56.9	48.7	55.1	55.7	58.0

23 : 30

《EIA 米週間在庫統計》

原油在庫・・・43.1 万バレル増加
 ガソリン在庫・・・77 万バレル増加
 留出油在庫・・・46.6 万バレル減少

23 : 35

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、米 4-6 月期の GDP が市場予想を上回ったことを背景に、米経済が堅調に回復しているとの見方が広がり、主要株価は買いが優勢となった。ただ、利益確定の売りも出て、やや上値は限定的となっている。

《 経済指標のポイント 》

(1) MBA（全米抵当貸付銀行協会）の住宅ローン申請指数は、-3.7%と7週連続で低下となり、2011年7月以来の水準に低下した。借り入れコストが2年ぶりの高水準近くにとどまっていることが要因となった。構成指数では、借り換え指数が+3.8%、購入指数が-3.4%と2月後半以来の低水準となった。30年固定金利型の住宅ローン金利は4.58%（前週4.58%）、15年固定金利型は3.67%（前週3.63%）と、3週間ぶりに上昇となった。申請件数全体に占める借り換えの割合は62.9%に低下し、2011年4月以来の低水準となった。

(2) ADPが発表した7月の米民間部門の雇用者数は、前月比で+20万人と今年に入り最大の伸びとなった。前月の結果は、-18.8万から+19.8万人に上方修正された。製造業や建設業を含む財生産部門の雇用は+2.2万人、建設業は+2.2万人、製造業は-0.5万人、サービス業は+17.7万人となった。従業員が500人以上の大企業の雇用者数は、+5.7万人、50-499人の中堅企業では+6.0万人、小企業は+8.2万人となった。

(3) 米4-6月期GDP速報値は、年率換算で前期比+1.7%となり、1-3月期から拡大した。設備投資や輸出がプラスに転じたことが成長率を押し上げた一方、一部減税の失効や歳出削減による財政の引き締めが響き、個人消費は+1.8%と1-3月期の+2.3%から伸び悩んだ。

①設備投資は+4.6%と前期の減少からプラスに転じ、工場などの生産インフラ関連、機械・ソフトウェア、研究開発がいずれも伸びた。住宅投資は+13.4%と引き続き二けたの伸びを示し、堅調を維持した。

②輸出は+5.4%と前期の減少から持ち直し、2011年7-9月期以来の高い伸び率となった。モノ、サービスともにプラスだった。一方で輸入も+9.5%と2010年7-9月期以来の大きな伸び率となったが、外需の寄与度は引き続きマイナスとなった。

③政府部門は連邦政府が-1.5%、国防関連はマイナス幅が大幅に縮小した。州・地方政府は4四半期ぶりにプラスを取り戻した。

④個人消費支出物価指数は、前年同期比で+1.1%にとどまり、-0.9%下落した2009年7-9月期以来で最も低い伸び率となった。

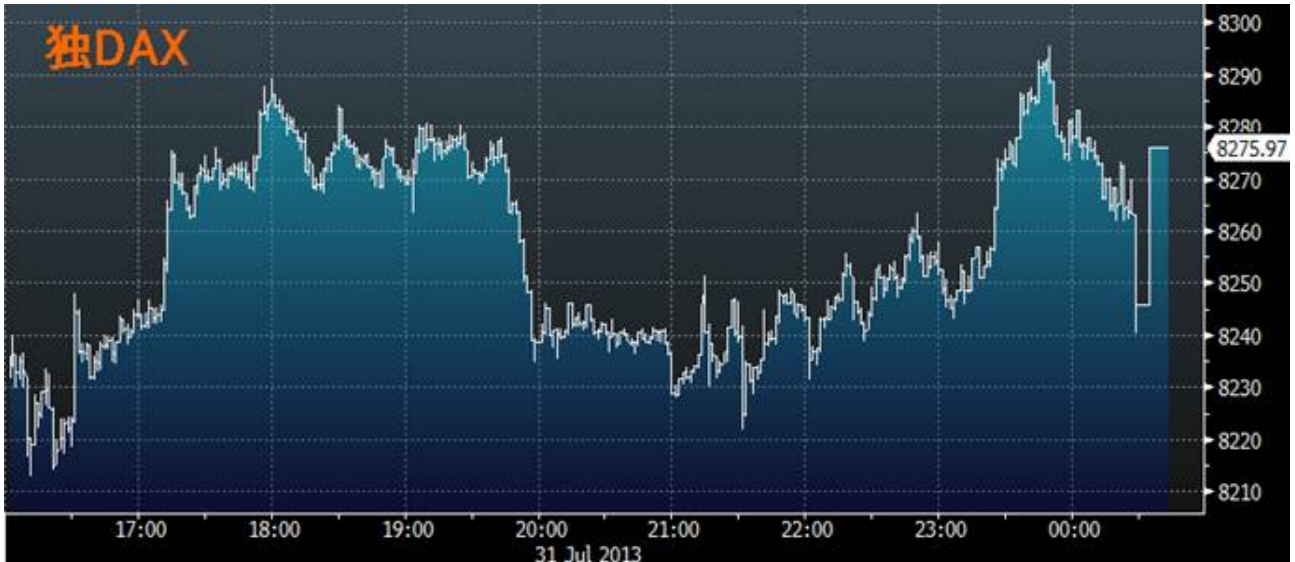
⑤成長率は今回、年次改定や統計算出方法の一部変更によって、2011年1-3月期が-1.3%とマイナス成長に修正された。

欧州主要株	終値	前日比
英 FT100	6621.06	+50.11
仏 CAC40	3992.69	+6.08
独 DAX	8275.97	+4.95
ストック欧州 600 指数	299.58	+0.15
ユーロファースト 300 指数	1205.72	-0.46
スペイン IBEX35 指数	8433.40	-23.10
イタリア FTSE MIB 指数	16482.35	-60.55
南ア アフリカ全株指数	41292.84	+301.54

(出所:ブルームバーグ)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、4-6 月期の米 GDP が市場予想を上回ったことを受けて、米経済の先行き期待が広がったことを受けて、主要株価は堅調な動きとなった。ただ、FOMC や ECB 理事会の結果発表を控えておりやや上値の重い動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 15574.19(+53.60)、S&P500 1693.09(+7.13)、ナスダック 3633.41(+16.95)

《NY 債券市場・午前》

・午前の債券市場は、4-6 月期の米 GDP や、7 月の ADP 雇用統計が場予想を上回ったことを受けて、米量的緩和の早期縮小観測が強まり、売りが先行した。

・午前の利回りは、30 年債が 3.73%(前日 3.67%)、10 年債が 2.68%(2.61%)、7 年債が 2.11%(2.02%)、5 年債が 1.46%(1.39%)、3 年債が 0.63%(0.59%)、2 年債が 0.33%(0.31%)。

《欧州のポイント》

①EU 統計局が発表した 7 月のユーロ圏消費者物価指数は、前年同月比+1.6%となり、市場予想に一致した。しかし、インフレ率は ECB が目安とする 2%弱 の水準を 6 ヶ月連続で下回っている。リセッションからの脱却を支援する ECB には、金融緩和継続の余地が増したとの指摘も出ている。

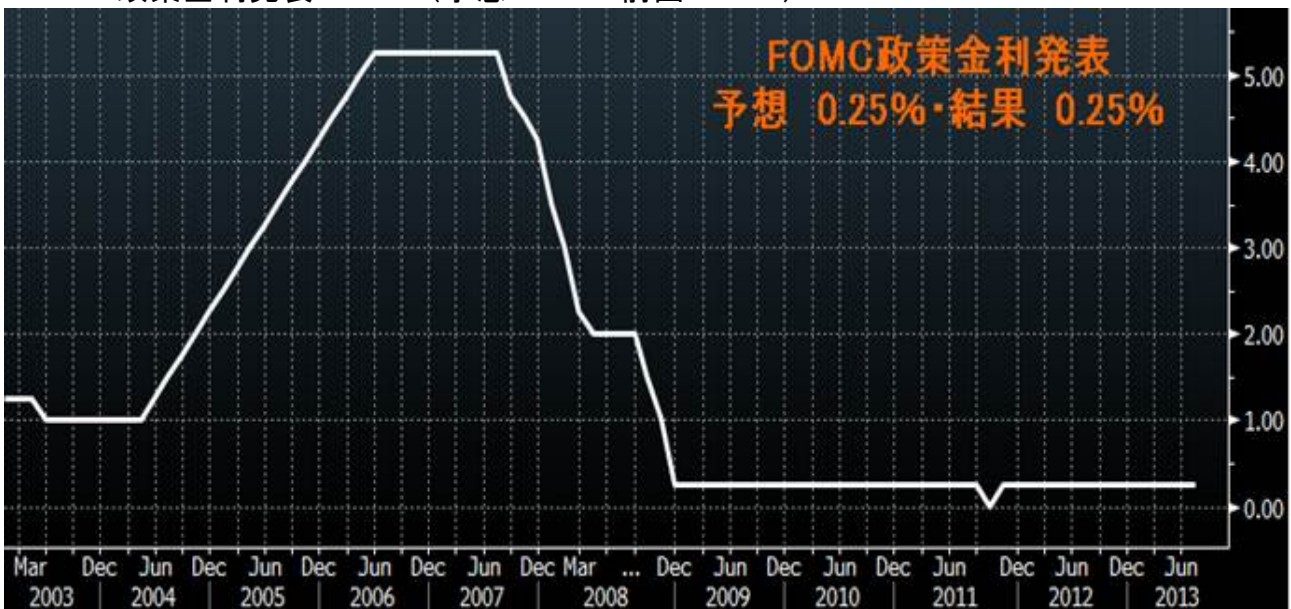
②6 月のユーロ圏 17 カ国の失業者数は、前月比で-2.4 万人の 1926.6 万人となった。失業率は横ばいの 12.1%で 1999 年のユーロ導入以来最悪の水準だが、実数は 2011 年 4 月以来の減少に転じた。また、ユーロを導入していない国も含めた EU27 カ国の失業率も前月より 0.1 ポイント低い 10.9%だった。改善は 2 年 3 ヶ月ぶり。債務危機で進んできた景気悪化に歯止めがかかりつつあるのではないかと期待が膨らんでいる。国別では、スペイン、イタリア、ポルトガルなどで失業率が改善。一方、フランスやオランダ、キプロスなどでは悪化が続いている。25 歳未満の若年失業率はユーロ圏で 23.9%と前月から 0.1 ポイント悪化した。

③IMF は、債務危機に陥っているギリシャが2015 年末までに109 億ユーロ(約1 兆4000 億円)の資金不足に陥る可能性がある」と指摘した。今秋にも追加支援が必要になるとし、経済見通しが下振れすれば不足額はさらに拡大すると警告した。ギリシャへの支援計画に関する報告書によると、資金不足額は2014 年が44 億ユーロ、2015 年が65 億ユーロをそれぞれ見込んだ。2013 年にマイナス成長となるGDP は、2014 年には+0.6%とプラスに転じると予測したが、政治不安などから、下振れするリスクがあるとした。また、公的部門の民営化や財政構造改革の遅れ、緊縮財政が家計に及ぼす影響など、景気を下押しする悪材料は多いと指摘もしている。

3:00

《 経済指標の結果 》

・FOMC 政策金利発表 0.25%(予想 0.25%・前回 0.25%)



《FOMC》

- ・「FF金利誘導目標を0-0.25%で据え置き」
- ・「月間850億ドルの資産購入ペースを維持」
- ・「インフレの2%未満、長期化はリスクとなり得る」
- ・「インフレは中期的に2%の目標に戻ると予想」
- ・「失業率6.5%まで異例の低金利正当化へ」
- ・「月850億ドルの資産購入維持、デスインフレのリスク指摘」

3:20

オバマ大統領は、次期FRB議長候補としてコーン前議長に言及～関係者

3:30

NY金は、中心限月が前日11.80ドル安の1オンス=1313.00ドルで取引を終了した。

4:20

NY原油は、中心限月が前日比1.95ドル高の1バレル=105.03ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1313.00	-11.80
NY 原油	105.03	+1.95

(出所:ブルームバーグ)

《 NY 金市場 》

NY金は、4-6月期の米GDPや雇用関連の米民間指標が市場予想を上回ったことで米景気の回復期待が広がり、比較的安全な資産とされる金を売る動きが先行した。また、指標発表を受けて米量的緩和の早期縮小観測が強まったことも、圧迫材料となった。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、4-6月期の米GDPやADP雇用統計が市場予想を上回ったことから、米景気の回復に伴うエネルギー需要の増加期待が高まり、買いが先行した。また、FOMCが量的緩和に伴う資産購入の規模を維持したことも支援材料となり、4営業日ぶりに反発した。



(出所:ブルームバーグ)

米主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	15499.54	-21.05	15634.32	15492.96
S&P500 種	1685.73	-0.23	1698.43	1684.94
ナスダック	3626.37	+9.90	3649.35	3624.77

(出所:ブルームバーグ)

《米株式市場》

米株式市場は、ADP 雇用統計や米 4-6 月期 GDP が市場予想を上回ったことを背景に、米経済が堅調に回復しているとの見方が広がり、主要株価は堅調な動きで始まった。ただ、利益確定の売りも出て、その後はやや上値の重い展開が続いた。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で 113 ドル高まで上昇した。その後、マイナス圏まで下落したものの、FOMC を受けて上昇する動きとなった。ただ、終盤には再びマイナス圏まで下落して引けた。



(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	99.94	98.54	97.69
EUR/JPY	130.25	130.79	129.69
GBP/JPY	148.95	149.41	148.56
AUD/JPY	88.03	88.38	87.85
NZD/JPY	78.22	78.39	77.89
EUR/USD	1.3301	1.3345	1.3211
AUD/USD	0.8990	0.9024	0.8938

(出所:ブルームバーグ)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標が市場予想を上回る結果となったことを受けて、ドルが主要通貨に対して上昇する動きとなった。また、投資家のリスク回避の動きが後退してことから、クロス円も堅調な動きとなった。ただ、FOMC で緩和策が継続されたことから、ドルが主要通貨に対して軟調な動きとなった。なお、豪ドルは引き続き主要通貨に対して軟調な動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。